

ここが聞きたい!

# いっぱん

## 遅れている地域防災計画、策定期間は

大垣照子 議員

### 町長 平成26年度中に策定したい



**問** 26年度当初予算の中に地域防災計画策定や防災訓練等の予算は見当たらない。地域防災計画の策定を問い、役に立たない計画策定は意味がないとして、全国初の女性消防士であった方の指導等を仰ぐ事について、23年の12月議会で質問した。町長は「翌年度の早い段階で、策定に向け鋭意進める。女性消防士についても、実現したい。」と答弁しその後、2年以上経過しているがどう考えているのか。

**答** 26年度には、策定委員会を立ち上げソフト的なことについては、6月補正でお願いしたい。女性消防士の指導については、策定委員会等進める

中で、町民の皆さんも含め講演会を大々的に開催したい。

**問** 万が一の時、一人の命も財産も失ってはならない。策定に向けた全体的なスケジュールは。

**答** 26年度中には、策定したい。

**問** 中学卒業までの多子世帯の児童生徒の医療費助成は、子ども一人ひとりの人権を考えれば、1人2人の世帯でも導入を、

**答** 少子化対策の一環であり、1人2人では人口は増えず3人目は御褒美として行っている。

**問** 子どもは多いほうがいいが、家庭環境や経済的な問題等で、全ての人がそのようにはいかない。一人ひとりの子どもの人権と尊厳に考慮を。

定住相談員、定住人口増加への具体策は。

**答** リーターン者に対し行政と住民が一体となり、迎え入れる環境作りが必要。空き家対策で住宅の提供等、環境整備も必要。

**問** 定住来町者へのフォ

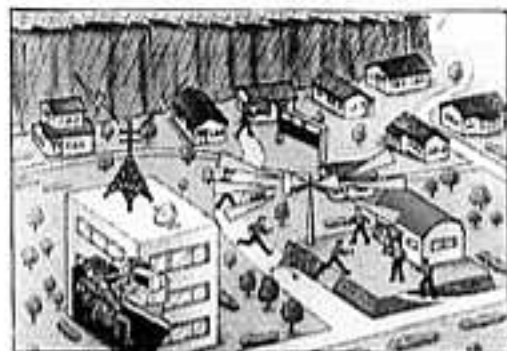
ローアップを、県外からの方は、言葉でのつまづきがあり、親身になっての相談体制の構築を。雇用の場の確保も必要であり考えは。

**答** 町内には、雇用の場はたくさんあり、町内のみでは労働力の確保が不可能で、雲南市等からも通勤されている。誘致企業増設もあり、本町への進出希望があれば、トップセールスに努めたい。

**問** 税収面等を考えれば夜間人口の増加が重要。昨年に続き3回目となる玉峰山荘問題について、副町長から社員や嘱託職員の未払い賃金、1千68万円を支払ったとの説明を受けたが、この中に臨時さんやパートさんの残業や休日出勤手当も払われているのか。

**答** 勝田副町長 今、資料を持ってなく、後日答える。

### 土砂災害警戒区域



土砂から身を守るためには、警戒避難体制の整備が必要(鳥根県の資料より)

その時、一緒に支払うべきだ。払われていないのなら、キチンと整理すべき。また、支払った未払い賃金の各自の明細は、本人に出されているのか。しっかり対応を。

本年1月よりタイムカード機を撤去し、手書出勤簿にした理由は、

**答** 勝田副町長 タイムカードでは、実働労働時間が計れず、勤務時間や休憩・超過勤務時間を明確に把握するため、手書きに改めた。

**問** タイムカードをやめたことは、社員に不信感を持つとも受け止められ、違和感がある。